

纖維状物質研究

FIBROUS MATERIAL RESEARCH

纖維状物質の安全衛生専門誌

VOL.11 2024



一般社団法人 日本纖維状物質研究協会

JAPAN ASSOCIATION for the STUDY of FIBER MATERIALS

繊維状物質研究 CONTENTS vol.11 2024

繊維状物質の安全衛生専門誌

☆ 巻 頭 言	日本繊維状物質研究協会に参加して	川本 俊弘	1
☆ 解 説 1	化学物質管理と保護具について	大野 翼	2
☆ 解 説 2	石綿等処理技術の審査証明について	新井 淳/大塚 耕二	7
☆ 解 説 3-0	石綿障害予防規則に基づく事前調査について	尾川 俊也	13
☆ 解 説 3-1	労働安全衛生法による石綿障害防止措置について	井上 栄貴	14
☆ 解 説 3-2	石綿障害予防規則に基づく事前調査について ～建災防における建築物石綿含有建材調査者講習等の実施状況と今後の取組み～	森脇 誠	23
☆ 解 説 3-3	石綿障害予防規則に基づく事前調査について 『経験不足者が事前調査時に当惑した例』 ～石綿含有建材調査者として活動を始めてから、必ず問われる項目や事前調査者としての心構え～	吉田 優子	29
☆ 解 説 3-4	石綿障害予防規則に基づく事前調査について ～ベテラン調査者が調査する上で注意している事と調査方法～	望月 文人	35
☆ 解 説 4	第4回 石綿の分析精度確保に係るクロスチェック事業 実施結果報告書 一般社団法人 日本繊維状物質研究協会		44
☆ 短 報 1	X線回折分析法によるPタイル定量の前処理条件の検討	枝 彩花	49
☆ 短 報 2	近赤外分光式携帯型アスベストアナライザーから得られる 参考情報のアスベスト分析へ適用検討	ナスクリシユナ	55
☆ 短 報 3	事前調査における試料採取のより安全な方法についての考察	松井 円	60
☆ 技 術 情 報	防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具 (G-PAPR) について	安藤 眞理	62
☆ 事 例 研 究	石綿暴露による健康被害防止のための石綿情報の可視化と共有伝達	宇田川佳世/大久保恵治	64
☆ 調 査 報 告	仕上塗材除去工法の養生不要検証—集じん装置付き超高压水洗工法—	藤林 秀樹	69
☆ 会 社 紹 介 1	(一社) 日本アスベスト調査診断協会		77
☆ 会 社 紹 介 2	日本水処理工業株式会社		78
☆ 研 修 セ ン タ ー の 紹 介	(一社) 日本繊維状物質研究協会 研修センター開設のご案内		79
☆ 表 彰 ・ 受 賞	令和5年度 中央労働災害防止協会「緑十字賞」を受賞		80
☆ 学 会 報 告	第62回 日本労働衛生工学会・第44回 作業環境測定協会学術大会 参加報告	田村三樹夫	81
☆ 学 術 集 会 報 告	第11回 日本繊維状物質研究学術集会参加報告	渡邊 雅之	83
☆ セ ミ ナ ー 報 告 1	第16回 日本繊維状物質研究セミナー参加報告	渡邊 雅之	93
☆ セ ミ ナ ー 報 告 2	第17回 日本繊維状物質研究セミナー参加報告	渡邊 雅之	97
☆ 講 習 実 施 報 告	令和5年度 石綿障害予防規則第3条第6項に基づく分析調査者講習 (学科講習) 実施報告		100
☆ 文 献 紹 介	2023年石綿関連論文		107
☆ 会 告	第12回 日本繊維状物質研究学術集会 開催のご案内		110
☆ 会 告	JASFM 分析用標準試料の販売等のご案内		119
☆ 会 告	投稿規程		120
☆ 会 告	投稿票		123
☆ 会 告	原稿募集・会員募集案内		124

♪表紙デザイン バサルトウールのSEM画像 提供 神山宣彦

表紙写真のバサルトウールは、天然岩石の玄武岩 (バサルト) を高温で溶解したものを多数の小さな穴をあけた円形スクリーンから遠心力で噴き出させて綿菓子のようにつくったもので、ロックウール (岩綿) の名称の由来となったものである。日本では玄武岩の代わりに溶鉱炉でできる鉱滓から作ったものをロックウールとかスラグウールと呼んで、耐火吹付けや断熱材等に広く使用している。写真の太い繊維は直径が0.01mm (10 μ m) 以上の非吸入性繊維だが、数 μ m以下の細い吸入性繊維も少し存在している。ロックウールは、酸性溶液に溶けやすく体内耐久性が低いため、発がん性はほぼないとされている。